

科目ナンバー	PSY-2-004-sn			科目名	青年心理学		
教員名	奥田 雄一郎			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	現代社会においては、教育、就業、そして大人とはといったように若者を取り巻くさまざまな問題が毎日取り上げられています。この青年心理学という講義ではそれらの問題に対して心理学からはどのように考えることができるのか。そしてそもそも青年期とはどのような時期であり、どのような特徴があるのかを心理学することを目的とします。心理学ではこれまで若者をどのように研究してきたのか、その結果何がわかったのか、そのようなこれまでの青年心理学の知見、そして今若者はどのように研究されているのかといった、最新の若者研究の最前線をわかりやすく講義したいと思います。また、青年期はまさに今皆さんが経験している時期です。その青年期を内側から、そして外側からどのように経験し、心理学という視点からどのように考えることができるのか、その過程を皆さんと楽しんでいきたいと思っています。						
到達目標	本講義の目的は以下の3点です。 ①心理学的視点を獲得することによって、自分たちの周りの情報を鵜呑みにするのではなく、科学的に自らの頭で考える力を養うこと。 ②心理学、特に青年心理学を学ぶことによって、社会の中での若者の位置づけを確認し、また同時に、若者である自分自身に対する理解を深めること。 ③ディスカッションを行うことによって、相手の話を聞き、そして自分の考えを相手に伝えるといったコミュニケーション力を獲得すること。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	本講義は、講義形式での座学とディスカッションを用いたアクティブラーニングから成り立っています。 各回の初めに、前回の授業での学生たちの感想を元におさらいと、授業への導入を行うことによって、履修生の質問や感想に対するフィードバックを行います。その後、講義、またはディスカッションを行います。 ディスカッションでは、スマホなどを使ってチャットを使用したインターネット上の議論や、実際に対面でのグループディスカッションを行います。 最後に、その回の内容について5問程度の確認問題を行います。 各回の授業には終了から次の授業までに、その回の授業を自分でリフレクションした「授業についての感想」をメールで送ってもらいます。 青年心理学は、各回が講義を中心としたAcademic modeと、ディスカッションなどを中心としたPractice mode の回に振り分けられています。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	特にありません。						
アセスメントポリシー及び評価方法	定期試験(60%)授業への参加度(40%)						
教材	授業に必要な資料は授業時間に配布します。チャットを使ったディスカッションを行うため、スマートフォン、タブレット、PC、Macなどのインターネットに接続可能なモバイル端末を準備してください。						
	白井利明(編) 2006 よくわかる青年心理学 ミネルヴァ書店 無藤隆 2009 よくわかる発達心理学 ミネルヴァ書店 白井利明 森陽子 都筑学 2002 やさしい青年心理学 有斐閣アルマ 遠藤由美 2000 青年の心理―ゆれ動く時代を生きる― サイエンス社 浅野智彦(編) 2009 リーディングス 日本の教育と社会 18若者とアイデンティティ 日本図書センター 浅野智彦 2006 検証・若者の変貌―失われた10年の後に 勁草書房 溝上慎一 2001 大学生の自己と生き方―大学生固有の意味世界に迫る大学生心理学 ナカニシヤ出版 溝上慎一(編) 2002 大学生論 ナカニシヤ出版 溝上慎一 2004 現代大学生論～ユニバーシティ・ブルーの風に揺れる NHK出版 溝上慎一 2008 自己形成の心理学―他者の森を駆け抜けて自己になる 世界思想社 春日武彦 2002 17歳という病―その鬱屈と精神病理 文藝春秋						

参考図書	東浩紀 2001 動物化するポストモダン 講談社現代新書 小島貴子 2006 就職迷子の若者たち 集英社新書 荻谷剛彦(編著) 2006 今この国で大人になるということ 紀伊国屋書店 杉山登志郎 2007 発達障害の子どもたち 講談社現代新書 Goffman 1959 Presentation of Self in Everyday Life Anchorゴフマン,E 1974 行為と演技―日常生活における自己呈示 誠信書房 内閣府 2018 子ども・若者白書 佐伯印刷 エリクソン,E.H.岩瀬庸理訳 1982 アイデンティティ:青年と危機 金沢文庫 エリクソン,E.H.小此木啓吾訳編 1973 自我同一性:アイデンティティとライフ・サイクル 誠信書房 鐘幹八郎 1990 アイデンティティの心理学 講談社現代新書 森真一 2000 自己コントロールの檻 講談社選書メチエ 森真一 2008 ほんとはこわい「やさしさ社会」ちくまプリマー新書 土井隆義 2008 友だち地獄―「空気を読む」世代のサバイバル ちくま新書 斉藤環 1998 社会的ひきこもり―終わらない思春期 PHP新書 森田洋司 2010 いじめとは何か―教室の問題、社会の問題 中公新書 山内祐平, 林一雅, 西森年寿, 椿本弥生, 望月俊男, 河西由美子, 柳澤要(著) 2010 学びの空間が大学を変える ポイックス株式会社 美馬のゆり 山内祐平 2005 「未来の学び」をデザインする―空間・活動・共同体 東京大学出版会 茂木一司, 荻宿俊文, 佐藤優香, 上田信行, 宮田義郎 2010 協同と表現のワークショップ―学びのための環境のデザイン 東信堂 中野民夫 2001 ワークショップ―新しい学びと創造の場 岩波新書菅谷明子 2000 メディア・リテラシー―世界の現場から― 岩波新書 谷岡一郎 2007 データはウソをつく―科学的な社会調査の方法 ちくまプリマー新書ダレル・ハフ(著), 高木秀玄(翻訳) 1968 統計でウソをつく法 ブルーバックス
------	--

内容・スケジュール			
1週目			
授業学修内容	オリエンテーション 本講義では青年心理学という授業についてのオリエンテーションを行うと同時に、心理学とは何か、ということについての講義を行います。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	1
2週目			
授業学修内容	心理学って何?(Academic mode) 心理学という学問の概要について、簡単にレクチャーします。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
3週目			
授業学修内容	青年心理学とは何か(Academic mode) 青年心理学の対象としての若者を定義し、青年心理学という分野がこれまで明らかにしてきた知見を紹介すると同時に、心理学が属する科学という営みについて様々な事例をあげながら概観します。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
4週目			
授業学修内容	自分って何?(Practice mode) 青年期の課題であるアイデンティティの問題に焦点化し、青年心理学の視点から、自己の発達について考察し、自分自身についてグループでディスカッションします。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	大人って何?(Practice mode) 法制度側面、生物学的側面、社会学的側面、そして心理学的な側面から、現代社会の中で大人になるとはいかなることなのかについて考察し、グループでディスカッションします。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
6週目			
	働かなきゃダメ?(Practice mode)		

授業学修内容	現代社会の中で問題化されている若者の就業の問題に焦点を当て、若者にとって働くとはどんな意味があるのかをディスカッションします。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	若者の人間関係(Academic mode) 若者の人間関係に焦点を当て、その発達的な側面、時代的な変化について、青年心理学的な視点からの検討を行います。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	これまでのまとめと学習履歴のリフレクション		
授業外学修内容	1回目から7回目までの授業を振り返り、それぞれの学習要素を各自が習得できているか、自らリフレクションを行う。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	若者と文化(Practice mode) サブカルチャーなどの若者文化に焦点を当て、若者と文化の関係について概観し、グループでディスカッションします。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	大学での学びを心理学する(Practice mode) 最新の高等教育研究の知見をまとめ、大学という視点から現在の若者たちを概観し、自らの大学生活についてグループでディスカッションします。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	若者の問題(Academic mode) 若者を取り巻く問題、特に青年期という発達期に特有の諸問題について、心理学的な視点から概観し、その対処について考察します。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	若者と時間的展望(Academic mode) 人間にとっての過去・現在・未来を研究する時間的展望研究の視点から若者を概観します。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	データから見る若者(Practice mode) 最新の統計データから、現代社会の若者たちの特徴を捉え、グループでディスカッションを行います。		
授業外学修内容	授業の内容について、5問程度の小テストに加えて、授業の内容についての感想をメールで提出してもらいます。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	学生によるプレゼンテーション 学生の立候補により、1年生から4年生の学生たちに自らの関心・研究・活動についてプレゼンテーションを行ってもらいます。		
授業外学修内容	それぞれのプレゼンターのプレゼンに対して、感想を書いてもらいます。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	まとめ 「青年心理学」という授業のまとめとして、第1回から第14回までの授業を振り返り、その到達点、課題について再考する。		
授業外学修内容	これまでの授業を振り返り、試験に向けた学習を行う。	時間数	4

上記の授業外学修時間の合計	31
その他に必要な自習時間	59

Number	PSY-2-004-sn	Subject	Adolescent Psychology			
Name	奥田 雄一郎 (Okuda Yuichiro)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2	
Course outline	In modern society, each day we hear about various problems surrounding young people, such as education, work, and what it means to be an adult. What can we think about these problems from psychology in this course, titled "Adolescent Psychology"? We aim to use psychology to ask what kind of period adolescence is and what kind of characteristics it has. We will simply explain how psychology has researched young people in the past, what was understood as a result, the findings of conventional adolescent psychology, and the front line of the latest research on young people, such as how young people are being researched now. Adolescence is the period all of you are experiencing now. We will together enjoy the process of how we experience adolescence from both the inside and the outside and how we can think about it from the viewpoint of psychology.?					